もっとスポーツを！！いつでも、どこでも、誰でもできる

歩くスキー

会　長　メ　ッ　セ　ー　ジ

協会をアピールしていきましょう

特定非営利法人　北海道歩くスキー協会　会長　浜島　泉

うれしいお知らせが二つあります。一つは、仮認定法人が決定しました。長年にわたって、努力してきましたが、認定機関が道庁から札幌市役所へ移行があって滞っていました。この７月に正式申請を行い、決定通知を貰いました。もうひとつは、北海道マラソンのスポーツチャリティー基金から助成を頂きました。いずれも、地道な努力と貢献を積み重ねてきた功績が認められたものと思います。これらは、終点ではありません。仮認定が通ったのは、寄付を集めてもよいというお墨付きを頂いたことですから、これから寄付を集めると言うことです。

協会の理念と活動実績を広報し、組織と経理が明朗に行われていること、発展の可能性があることを、積極的にアピールしていく必要があります。一人ひとりが、私が今お話したように着実にアピールすること、そして寄付を頂くこと、これが大切なことです。これをクラウドファンディングと言いますが、最近は色々なところで、この言葉を聞くようになりました。そして共感を頂いた所からはかなり大きな寄付を頂けるようになってきました。私達一人ひとりの力は、小さいのですが、協会が存在し、社会に認められているという意義は大きいのです。

それをアピールして共感をかち取ることは、たやすいことではないのですが、社会にとっては重要なことです。私達は「もっとスポーツを」というスローガンを掲げています。このことは今の日本で、国民的に国家的に重要なことです。運動しない人が多くなっては、国の健康が守れないのです。

お金がないから助けてくださいというだけでなく、国民的に重要なことをやっているから支援してください。協力してください、貴方が働けないボランティアを私達がやります、力を貸してください、そういうふうに訴えていくのです。大会をやって人を集めるというだけでなく、今このスポーツを、ウインタースポーツを、スキーを盛り返し、歩くスキーを文化として広めることが大切です、と訴えていきましょう。

協　会　ニ　ュ　ー　ス

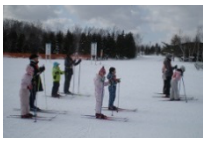
平成２７年度　後期集会および懇親会

恒例の平成２７年度後期集会が１１月２９日（日）アサヒビール園「はまなす館」において１０時３０分より開催されました。浜島会長より開会の挨拶があり、引き続き立花名誉会長より当年度事業遂行に関する激励の挨拶を戴きました。平成２７年度後期事業内容については各運営長より事業内容の骨子について説明がなされ、会長より「障がい者歩くスキーの手引き」について、中村理事より「協会主催２事業の開催要項５項目の見直しについて」説明がありました。懇親会は同じくアサヒビール園「ロイン亭」におい

て１２時より、芳賀顧問の乾杯の音頭で開始しました。バイキングを楽しみながら今シーズンの意気込み等を話し、大いに会員の親睦を深めました。

平成２７年度後期事業（冬季行事）カレンダー（平成２７年１１月～平成２８年５月）

問合せ先：NPO 法人北海道歩くスキー協会事務局　TEL/FAX（011）747-1505　　mail:h_arukuski@yahoo.co.jp

事業	月日（曜日）	事業名	会場	メモリー
主催	H27.11.29（日）	後期集会	アサヒビール園	
	H27.12.23（祝）	クロスカントリースキー講習会（有料）	滝野公園「常設コース」	
共催	H28.1.11（祝）	第 32 回滝野公園歩くスキー大会兼第 2 回滝野公園クロスカントリースキー記録会	滝野公園「常設コース」	
共催	H28.1.16（土）、23（土）、30（土）、2．6（土）	平成２７年度初めての歩くスキー	滝野公園「つどいの森」	
	H28.1.16（土）	オールカマースポーツクラブ歩くスキー教室	前田森林公園	
後援	H28.1.17（日）	第 36 回障がい者歩くスキー大会	滝野公園「渓流コース」	
主催	H28.1.24（日）	第 41 回道民・札幌市民歩くスキーの集い	滝野公園「常設コース」	
主催	H28.2.7（日）	第 36 回札幌国際スキーマラソン大会	札幌ドーム特設コース	
共催	H28.2.14（日）	第３回スノーデュアスロン 2016	滝野公園「常設コース」	
主催	H28.2.21（日）	2016 道新 Jr 歩くスキー教室	中島公園歩くスキーコース	
主催	H28.3.13（日）	第 2 回北海道歩くスキー協会「歩くスキーの集い」	滝野公園「常設コース」	
主催	H28.3.20(日)	春山スキーハイキング	中山峠周辺	
後援	H28.4.3（日）	第 34 回ニセコ連峰歩くスキー大会	蘭越町字湯里	
主催	H28.5.15（日）	札幌市郊外のウオーキング	茨戸川周辺散策	
	H28．1	もみじ台地区歩くスキー教室	未定	

協 会 ニ ュ ー ス

（ホームページ：h-arukuski. sakura. ne. jp も併せてご覧ください。）

（平成２７年度　前期行事）

「厚別中央地区をウォーキングし、歴史を学ぶ会」

平成２７年１０月１１日（日）０９：１０スタート、１４：００解散の日程で、札幌市「厚別中央地区をウォーキングし、歴史を学ぶ会」を開催しました。当日の天気は荒れ模様の予報でした。朝の歩き出しは曇りでしたがコース終わりころは土砂降りとなり、最終コースの信濃神社手前で雨宿りを余儀なくされましたが何とか信濃神社まで歩き通すことが出来ました。

参加人員は３８名で、０９：１０～１０：５０の「**ウオーキングの部**」は地下鉄ひばりケ丘～馬場公園～陽だまりロード～青葉中央公園～厚別区役所前「いちばん星」～副都心新札幌～青少年科学館前～信濃小学校～信濃神社（途中雨となり１KM程カット）の約３KMと、１１：００～１４：００の「**信濃神社の部**」は拝殿にて「歩くスキー協会の発展と安全祈願祭を実施」、「【厚別の歴史セミナー】・・・厚別中央歴史会代表　松山瑞穂氏、長野県人８人の入植によって始まる厚別区の誕生と現在」、「**お神酒付きの昼食**」、「お楽しみ抽選会」と盛りだくさんで、悪天候も吹き飛ぶ内容でした。

「**ウォーキングの部**」は地元に長く住まわれている当協会豊吉執行委員の案内で、平坦なコース約３Ｋｍをゆっくり歩きました。途中広大な牛の放牧地を整備した馬場公園は、遊水路、斜面を利用して冬はそり遊びやスキーを楽しむ家族連れで賑わうそうです。次に陽だまりロード、青葉中央公園では美しい紅葉を堪能し、幸せな気分になりました。各施設の屋外には、パブリックアートとしての景観など環境に調和した様々な彫刻やモニュメントを鑑賞することが出来ました。「厚別区役所前いちばん星」は、一日を終えた人々がほっとして宇宙の彼方のいちばん星を仰ぎ明日への願いを込めた作品で、夏の夜はライトアップされ、一段と輝きを増し、思いも深くなるとの事でした。一つ一つの作品に込められた思いに心温まり、潤いと安らぎを感じさせたひと時で、芸術の秋を満喫しました。

「**信濃神社の部**」は明治１５年諏訪大社より御分霊し、心の拠所として創建された信濃神社では全員で「北海道歩くスキー協会の発展と安全祈願祭」を行い祝詞奏上、榊奉納などの神事を執り行いました。７０代の正会員は「実施事業を安全で事故が無いように祈願しました。スキー事故が起きないよう私たちも啓発活動に取り組んでいきたい」と話していました。歴史家松山氏は、厚別区に初めて入植した８人のルーツをたどり長野県諏訪地方を訪ねて調査をした内容や、明治から昭和までの厚別区の写真を紹介してくれました。進取の気概や独立独歩の精神が強いとされる諏訪人気質が、開拓に関係しているかもしれない等と話していました。参加した地元厚別区の７０代女性は「地元にいながら恥ずかしいですが、知らない事がほとんどで、とても興味深い内容でした。ただ学ぶだけでなく日頃のまちづくり活動にも参加していきたい」と話していました。

神社の参集の間では、「**お神酒付きの昼食**」で懇親を深めました。また浜島会長（長野県の出身）より挨拶の後、長野県歌「信濃の国」を６番迄披露するハプニングがあり拍手喝采でした。今回はお楽しみ抽選会がありました。その後に協賛して頂いた方がたの報告がありました。当行事に協賛およびご協力頂いた皆様に心からお礼を申し上げます。

会　員　の　広　場

（リハビリ歩くスキー、障がい者歩くスキーの手引きについて）

平成２７年度後期集会において、当協会会長　浜島　泉より「リハビリ歩くスキー、障がい者歩くスキーの手引き」について説明がありました。　内容は「１．内部障がい者のリハビリ歩くスキー」、「２．知的障がい者、精神障がい者の歩くスキー」、「３．身体障がい者の歩くスキー」、「４．視覚障がい者の歩くスキー」です。

２０２６年札幌冬季オリンピック、パラリンピックの招致表明等により障がい者スポーツの指導者の養成が急がれていることもあり、協会もその対応が必要と思われます。

「リハビリ歩くスキー、障がい者歩くスキーの手引き」は事務局に用意しておりますのでお申し出ください。

（事務局からのお知らせ）

○会員募集のお知らせ

ＮＰＯ法人北海道歩くスキー協会では広く会員を募集しています。

当協会は、広く一般の人々に対して歩くスキーに親しむ機会を提供するとともに、歩くスキーの指導者の育成及び環境保全の普及に関する事業等を行い、生涯スポーツとしての歩くスキーの普及と、市民の健康増進に寄与することを目的とする団体です。入会ご希望の方は事務局にお問い合わせください。「会員入会申込書」は事務局よりお送りするか、またはホームページ(URL:h-arukuski. sakura. ne. jp)の会員募集要項に掲載していますので必要事項を記入頂き、「ＦＡＸまたは郵送」で事務局にお送りください。

○会費納入のお願い

平成２７年度分の年会費を納めていない会員の方は、速やかに納入をお願い致します。

○当協会主催事業「第４１回道民・札幌市民歩くスキーの集い」無料招待について

東日本大震災の被災者の方を対象に「北海道ＮＰＯ被災者支援ネット」を通じ、「第４１回道民・札幌市民歩くスキーの集い」へご招待いたします。開催要項および申込用紙については事務局にお問合わせ下さい。

（寄付者の名簿）

下記の方からご寄付および協賛金を頂きました。厚く御礼申し上げます。

○寄付金　・平成２７年９月１５日　認定NPO法人ランナーズサポート北海道様　５０，６７０円

○協賛金　・平成２７年１０月１１日「厚別中央地区をウォーキングし歴史を学ぶ会」への協賛金

札幌市農業協同組合厚別支店様	１０，０００円
医療法人札幌整形外科病院様	１０，０００円
厚別パークボウル様	１０，０００円
信濃神社様	１０，０００円
御料理仕出し大丸様	５，０００円
株式会社渡辺設備工業所様	５，０００円
源田真一（信濃神社総代表）様	５，０００円

●はじめての人でも「歩くスキーを楽しめる本」

歩くスキーを初めての方にもわかりやすく解説している本です。

定価　８４０円　事務局に有ります。

（書店には有りません）

NPO法人　北海道歩くスキー協会事務局

〒060-0808 札幌市北区北8西3丁目28番　札幌エルプラザ2階

TEL, FAX:（011）−747−1505

受付日:火、水、金、土曜日

受付時間:10時00分～17時00分

ホームページ　：　h-arukuski.sakura.ne.jp

メール　：　h_arukuski@yahoo.co.jp

郵便為替、口座記号番号:02740−8−100335　北海道歩くスキー協会